区政を聞く一般質問（要旨）

詳しい内容は、会議録（2月中旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所3階）、図書館などでご覧になれます。

かつしか区民連合

早急な風水害対策の強化と目に見える形でのまちづくり推進を

令和元年台風19号を受けての風水害対策

問 水害が起き、荒川が氾濫危険水位に達したとき、最も危険性が高くなるのが堀切地区に架かる京成本線荒川橋梁の堤防高が下がった場所である。一刻も早い解決と工事の進捗を早める必要があると考えるがどうか。

答 平成25年9月に、区長自ら地元の8自治町会長とともに国へ要望書の提出を行うなど、早期完成に向けた働き掛けを続けているところである。

※他の質問項目　医療との連携　など

京成本線荒川橋梁の土のう対応

子ども未来プラザ

問 小菅の建設用地からアスベストを検出したと報告されたが、今後どのように対応し、周辺住民に説明していくのか区の見解を伺う。

答 過去に石綿工場であったので土壌汚染等の確認を実施し、アスベスト含有が判明した。空気測定で安全は確認したが、予防の対策として敷地周囲に高さ3mの仮囲いと園庭部に飛散防止シートを設置した。詳細調査を行い、処理方針を決定し速やかに近隣住民などに説明会を実施する。

※他の質問項目　母子支援　など

堀切菖蒲園駅周辺のまちづくり

問 駅北側の暗渠は、商売をされている方へさまざまな配慮をしながら、区として方向性を示し、取り組んでいく必要があると考えるが見解を伺う。

答 建物の処理や暗渠埋め立て後の跡地整備は都道拡幅整備の方向で東京都と協議調整している。今後は対象建物や複雑な権利関係を調査、整理するとともに移転促進策の検討を進め、都と連携した道路整備に取り組む。

※他の質問項目　荒川橋梁架替事業

地域の核となる公園整備と避難所運営の体制の検証を

青戸南児童遊園の整備

問 近隣住民が要望してきた、隣接する用地と一体化した児童遊園の拡張について、今後の方向性を聞く。

答 この地域は公園・児童遊園が少ないので、地域の方々と相談しながら拡張整備を検討していく。

※他の質問項目　整備の課題　など

防災船着場設置の考え方

問 輸送路の多ルート化のために整備すべき箇所があると思うが、新たな防災船着場整備の今後の方向性を伺う。

答 今後の整備は、河川管理者との協議の中で検討していく。

※他の質問項目　各防災船着場の目的

職員の災害時の体制

問 本区職員全般に対する防災スキルや知識の向上対策について伺う。

答 避難所開設訓練の継続実施や研修などを通じて、防災対策への知識を深め、スキル向上を図っていく。

※他の質問項目　職員招集体制　など

区民対応の課題

問 来庁される区民との「心のやりとり」についての、研修の現状を伺う。

答 区民からの相談に対し「心のやりとり」を含めた区民対応能力向上を図る接客向上研修の実施や、区民満足度向上研修で区民に寄り添った対応を理論的に考える機会を設けている。

※他の質問項目　人材育成に対する具体的な取り組み

日本共産党葛飾区議会議員団

災害から区民の命を守り安心して暮らせる権利の保障を

風水害に対する備えとその対策

問 地域と学校の連携、職員配置など災害対策本部態勢をもっと早く設置すれば問題が解決できたのではないか。

答 今回の災害対応で明らかになった課題について、検討・協議を行い、風水害に対する備えを、国や関係機関とも連携を密に図りながら適時適切に行っていく。

問 FMラジオを区民に配布するとともにFMかつしか局を移転すべきではないか。

答 FMラジオのほか、テレビやホームページなど、多様なチャンネルでの災害情報入手の必要性を周知する。また、FMかつしか局は、非常時には区庁舎の7階への移設が可能なため移転は考えていない。

佐倉市におけるビニールハウス倒壊

問 安心、安全、健康が保たれ、プライバシーを保護し、女性や要配慮者を十分考慮した避難所となるよう、家族ごとに専用スペースを設けられるものを備蓄すべきではないか。

答 限られたスペースの中でのやりとりになるため、避難所を運営する自治町会、学校等と避難所運営会議等の場で話し合いを進めるとともに、備蓄品も研究していく。

問 保田しおさい学校について、大型の発電機を装備すべきと思うがどうか。

答 一定期間、電源を確保できる非常用発電機の整備を現在検討している。

※他の質問項目　警報解除と避難実態の乖離　など

収納対策

問 野洲市のように債権管理条例を制定すべきと思うがどうか。また、滞納整理と生活支援のワンストップ窓口をつくるべきと思うがどうか。

答 葛飾区の債権の管理等に関する条例を施行している。また、多重債務や生活困窮状況にあると思われる場合は、自立相談支援窓口等へ案内し生活再建につなげる取り組みを実施しており窓口を設置するつもりはない。

※他の質問項目　差し押さえの中止

精神障害者施策

問 精神障害者グループホームの整備計画がなく、明確にすべきではないか。

答 精神障害者グループホームに限定した整備計画ではなく、体験型グループホームの整備を地域包括ケアシステムの中で取り組んでいく。

※他の質問項目　現状の認識　など

子どもの権利条例

問 意見が尊重され、受け止められる環境整備の保障となる子どもの権利条例を制定すべきと思うがどうか。

答 条例を制定することだけが、子どもの権利を保障するものとは認識していないため、児童相談所の設置等、事業の推進に全力を注いでいる。

※他の質問項目　子どもに関わる支援を推進するための仕組み作り　など

公共交通網の充実

問 ウェルピアかつしか・金町駅間のバス路線を重要な路線として再認識し、大幅な増便を求めてはどうか。

答 バス事業者に対し大幅な増便を求めることは現時点では難しいと考えている。区としては循環バスの導入検討の一環として、既存路線の再編も含めて検討を進めている。

※他の質問項目　バス路線の重要性についての認識

自由民主党議員団

安全で持続可能な街づくり 新金貨物線旅客化実現に向けて

コンプライアンスとガバナンスの認識

問 国民健康保険と介護保険の自己負担額合算処理における過払いについて、区民にどのように説明するのか、また、今後の回収について伺う。

答 国民健康保険システム内の計算式自体は正しく、介護保険システムから送信される情報の取り込みについて国民健康保険システム側での認識の違いが原因であることが判明した。システム開発等における業務のチェック体制の強化を全職員に指示し、情報システムに精通した人材の育成にも積極的に取り組むこととし、改善策を丁寧に区民に説明する。対象となる区民の方からの返還については、重ねておわびを申し上げるとともに、個別の事情なども考慮しながら丁寧に返還のお願いを続けていく。

問 葛飾赤十字産院を新宿に移転することについて、現在までに13億円の税金を投入していることをどのように区民に説明するのか、見解を伺う。

答 産科、小児科・新生児医療の中核を担う大変重要な医療機関であり、今後も区内で事業を行っていただくことが、区民が安心して妊娠・出産・子育てができる環境をより一層充実させることにつながると考え、移転建て替えの支援を決定した。敷地確保のための経費はかかるが、災害時における医療機能の強化など、今後も地域周産期母子医療センターとして本区にとって大変重要な施設であることを適宜適切に説明していく。

※他の質問項目　公正な選挙の執行管理　など

今後の財政運営の懸念

問 法人住民税の一部国税化および本区の特別区交付金への影響について、区長の見解を伺う。

答 特別区交付金は消費税5%時点と比較すると、本区では約69億円の減収が見込まれる。人口が集中している特別区において、防災・減災対策や公共施設更新をはじめ、持続的な発展のために取り組むべき喫緊の課題や将来的な課題が山積する中で、このような不合理な制度改正は応益負担や負担分任という地方税の本旨を無視したもので、決して容認できるものではないと考える。

※他の質問項目　歳入の見通し　など

令和の教育行政のあり方

問 幼児、児童、生徒の教育のあり方について、区長の考える令和の時代にふさわしい基本的な考え方を伺う。

答 葛飾区教育大綱では、「知・徳・体」について調和の取れた人間力を育成する教育の推進、地域全体で子どもたちの成長や自立を支援する環境づくり、乳幼児期から青年期に至るまでの一貫した教育環境の整備、生涯にわたる豊かな学びとスポーツ活動の支援の4つを柱として掲げている。幼児、児童、生徒の教育に関することは非常に重要な課題であると考えており、地域への愛着や誇りを感じながら人間力を豊かなものとしていけるよう教育委員会との連携や、学校・家庭・地域の方々とも協働しながら積極的に取り組んでいく。

問 教員の働き方改革についてどのような認識を持ち、どのように取り組んでいくのか、区長の見解を伺う。

答 本年3月に葛飾区立学校における働き方改革推進プランを定め、学校における働き方改革へのさまざまな取り組みを進めている。予算編成や事務執行体制の確保などから教育委員会による教員の働き方改革の取り組みを積極的に支援していく。

※他の質問項目　学力向上　など

都市基盤行政の課題

問 新基本構想・新基本計画の策定を進める中で、今後の葛飾区における都市基盤整備の考え方について伺う。

答 バス交通の充実・新金貨物線の旅客化、都市計画道路の整備、切迫する大規模水害への街づくりとしての対応などを将来に向けて検討・充実していく必要がある。都市基盤整備を着実に進めることによって、葛飾区に住みたい、住み続けたいと思っていただけるような魅力を高め、本区の持続的な発展に努めていく。

問 新金貨物線旅客化の実現に向け、国道6号との交差についてのこれまでの検討状況および関係団体との交渉を今後どのように進めていくのか、区長の見解を伺う。

答 国道6号の交差方法や貨物列車との併存など実現に向けて課題は大きく、その解決に向けて、今年度は、国道6号の踏切が自動車交通に影響を与えないよう、道路の交通信号により旅客列車を通過させる方法を国土交通省や警視庁などと協議しながら検討している。今後も、関係機関との協議に当たっては、区長が先頭に立ち、旅客化の実現に向けた取り組みを進めていく。

新金貨物線の線路

※他の質問項目　ホームドアの早期導入　など

SDGsと地球温暖化対策

問 温室効果ガスの削減が急がれる今、低炭素から脱炭素へと、区の環境政策も大きくかじを切るべきと考える。区長の見解を伺う。

答 環境政策の方針を大きく転換し、遅くとも今世紀中には脱炭素社会を実現できるよう、環境先進区として、他自治体に先駆けて、一層の取り組みを進めていく。

問 温室効果ガスを削減するためにはエネルギー利用の効率化が不可欠であるが、今後の区の対応方針を伺う。

答 助成事業をさらに充実させるとともに啓発事業を行っていくことが不可欠である。最近では、太陽光発電システムと蓄電池の併設加算制度を設けたエコ助成金が大幅に実績を伸ばしており、今後も、こうした実効性が高い事業に取り組み、区民や事業者との協働によって、エネルギー利用の効率化を進めていく。

※他の質問項目　新基本計画におけるSDGsを踏まえた取り組み　など

葛飾区議会公明党

区民一人一人を尊重した視点での施策の展開を

防災対策

問 水害のリスクやその際に取るべき行動の区民への周知、区民の理解について区の見解を伺う。

答 3月末までに新しいハザードマップを発行し、順次全戸配布する。新しいハザードマップには、水害時と地震時の避難行動を見開きで掲載し、双方の違いについても丁寧に周知する。同内容を分かりやすくまとめた映像も作成し、区公式ユーチューブチャンネルにもアップロードしていつでも見られるようにするほか、4月以降、全19地区センターでハザードマップの説明会を実施する。

問 水害を想定した避難所はどのように運営していくのか区の考えを伺う。

答 水害を想定した学校避難所の訓練としてボートを活用した訓練を実施している。今後も、備蓄品の搬送訓練や足の不自由な方を上階に搬送する訓練等、訓練内容の充実を図る。

※他の質問項目　避難所と災害対策本部との連携　など

ICTを活用したオンライン行政サービス

問 問い合わせに対しAIが自動回答するチャットボットを活用した行政サービスについて、区の考えを伺う。

答 葛飾区総合アプリの機能として、ごみの分別と戸籍・住民登録の2つのカテゴリーに係る問い合わせについてチャットボットを導入する予定である。利用状況などを踏まえ、今後も区民の利便性向上や業務の効率化につなげるため、他のカテゴリーの追加も含め、チャットボットを活用した行政サービスの拡充に取り組む。

※他の質問項目　葛飾区総合アプリの認知度向上に向けた取り組み　など

食品ロス削減

問 食品ロス削減の明確な方針を打ち出す必要があると思うが、実効性を高める推進計画への考えを伺う。

答 第4次葛飾区一般廃棄物処理基本計画および葛飾区基本計画等で施策化を図っていく。

問 3010運動をさらに実効性ある取り組みとして推進するために、区はどのように考えているのか伺う。

答 10月は食品ロス削減月間として各自治町会での回覧周知、チラシを活用した啓発を実施した。12月からは、かつしかFMでのCM、広報かつしかへの掲載のほか、工夫を凝らし実効性のある取り組みを進めていく。

※他の質問項目　かつしか食べきり協力店登録への取り組み　など

高齢者・買い物弱者対策

問 今後、移動販売を促進する上で、移動販売を実施する事業者を区が募り、移動販売を必要とする地域とのマッチングをすることが必要と思うが、区の考えを伺う。

答 葛飾区商店街連合会などを通じて、日常の買い物に困難を抱える地域を、各商店街に対して情報提供し、移動販売事業者を募ることについて検討していきたいと考える。今後、地域と移動販売事業者の調整、事業実施の際のPRや場所の提供を図るなど、適切な支援の在り方を引き続き検討し、買い物弱者対策に取り組む。

移動販売車

※他の質問項目　高砂団地での取り組み　など

地域資源を活かした取り組み

問 奥戸フラワーパークのバリアフリー化などを図り、美しいバラの魅力を最大限に生かす改修をしてはどうか。また、象徴的な品種を集めた花壇の設置、イベント開催が必要と思うが区の考えを伺う。

答 誰もがバラの美しさを堪能できるよう園路のバリアフリー化やトイレの改修などを行うとともに、公園全体の雰囲気も庭園風にして、見て楽しめるようなデザインの公園にしたいと考える。東京2020大会に関連した「オリンピックファイヤー」といったバラのコーナーや、さまざまなバラを生かしたイベントの実施など、より多くの方々に楽しんでいただけるような工夫を検討する。

問 葛飾区細田が「中野甘藍発祥の地」として広く周知できるような手立てについて、区の見解を伺う。

答 春キャベツ「中野甘藍」に由来した品種の栽培を細田地区の農業者等と協働・連携して進め、生育状況のホームページ等での紹介などに取り組む。収穫したキャベツについて地産地消へ向けた取り組みや学校等への提供による食育の推進などを通じて、区民に広く周知することに努める。

※他の質問項目　新種登録・新たなブランド創出への支援　など

SDGsの取り組み

問 今後、基本計画をはじめ各分野の計画を策定する際には、SDGsの理念である「誰一人取り残さない」持続可能なまちづくりを共通理念として取り組むべきと思うがどうか。

答 現在策定を進めている新基本計画では、SDGsが目指す経済・社会・環境のバランスの良い発展に向け、成長と成熟とが調和した持続可能なまちづくりを進めることを理念として掲げる方向で検討している。これを指針として各分野の計画策定を進め、全ての方々が住んでみたい、住んでいてよかったと思えるふるさと葛飾に向け、積極的に取り組む。

颯新かつしか

子どもの命を守る施策が優先 施設総量抑制の基本計画を守れ

子育て

問 湖南市、大阪市のように、養育費の立て替え支援事業、公正証書作成の補助事業などを行うべきではないか。

答 先行する自治体の状況を注視しつつ引き続き研究していく。

問 定員の空きが認可保育園3～5歳で公立256名、私立414名。幼稚園は私立788名、公立180名。既存施設の利活用に見通しをつけ、新園の整備を進めるべきと考えるがどうか。

答 既存施設を有効に活用した総合的な施策を行い待機児童の解消を図る。

問 延長保育を行っていない公立保育園も延長を行うべきと思うがどうか。

答 保護者の需要などを把握しながら、今後も引き続き検討していく。

東京都足立児童相談所

問 定期借地権で民間から児童相談所建設予定地を調達し、月額約220万円も払う契約は、人材の見通しがつくまで締結すべきでないと思うがどうか。

答 土地の確保は施設設計や工事等の前提となる。人材の見通しがつくまで契約すべきでないという考えはない。

※他の質問項目　ゼロ歳児保育　など

福祉・健康

問 就学時健康診断を行う教育委員会に予防接種や健診の正しい履歴情報を提供する必要があるが、見解を伺う。

答 予防接種や健診の記録が不明な場合、児童虐待の視点も持ち、情報提供の在り方を検討する。

※他の質問項目　相談窓口増設　など

防災

問 災害対策本部の設置が遅れ、計画運休が始まり、職員が各避難所に早く参集できず、受け入れ体制が予定どおりには整わなかったのでないか。

答 学校避難所指定職員は参集先の近隣に居住しており、交通機関の計画運休による影響はなかった。

※他の質問項目　情報メールの強化

まちづくり

問 なぜ、現庁舎の場所よりも災害危険度の高い場所に総合庁舎（災害対策本部）を移転させるのか。

答 再開発事業で狭あいな道路の解消が図られるなど、立石駅周辺の災害危険度は大幅に低減すると考えている。

※他の質問項目　施設総量抑制　など

教育

問 教育行政の3役、教育長、教育次長、学校教育担当部長は全て事務系職員になったが、校長会や学校現場との関係構築など、どう考えているのか。

答 知識や経験のある指導室長・指導主事がおり、組織的に対応することで教育の充実に努める。

※他の質問項目　教員間いじめ　など